



日本共産党市会議員

2016年11月09日

庄本けんじ

携帯 090-6665-9401

議員控え室 0798-35-3368

活動ニュース

世界に広がれ！核兵器廃絶の声

核兵器禁止条約交渉開始を求めるヒバクシャ国際署名

核兵器は地球を死の星にする悪魔の兵器

1945年8月6日、9日。広島と長崎に投下された2つの原子爆弾。あれから70年を超える年月が過ぎたいまも、核兵器は地球上に存在する。その数、1万数千発。保有している核兵器を、一体どうするつもりなのか。核兵器をすべて捨てきれない限り、いつ、また同じ悲劇を繰り返すことになるのか、恐怖を取り除くことはできない。

核兵器は、必要悪などと言って、持ち続けることは絶対に許されない。

被爆者は、核兵器禁止条約を結ぶことを、すべての国に求めます

被爆者は、原爆投下から70年を過ぎた今も、後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、生き抜いてきました。「ふたたび被爆者をつくるな」と声を上げ続けてきました。被爆者は、いま、平均年齢80歳を超えています。そこで、被爆者は訴えています。「後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望し」「核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます」。被爆者は、いま、核兵器禁止条約を結ぶことを求める、国際署名を呼びかけています。



国連!核兵器禁止条約交渉開始決議案を採択

日本は、採択に反対の態度

10月27日、国連総会で軍縮を担当する第一委員会が、核兵器禁止条約の締結交渉を開始する会議を来年開催する決議案を123か国の圧倒的多数の賛成で採択しました。決議案には、「核兵器を禁止し、完全廃絶につながる法的拘束力のある措置を交渉するために、2017年に国連会議を招集する」とあります。この決議案は12月に開かれる国連総会の採択に付されます。

核兵器を禁止し、廃絶する条約は、被爆者はもちろん「世界の反核平和運動が長年求めてきたもので、この採択は、画期的な成果と言えます。

被爆国である日本政府が、この決議に反対しました。失望と怒りの声があがっています。ヒバクシャ国際署名を大きく広げ、核兵器保有にしがみついた勢力を包囲しましょう。

原水爆禁止西宮市協議会 国際署名に取り組む

西宮市に事務局を置く原水爆禁止西宮市協議会も、ヒバクシャ国際署名を各団体に送付しています。

西宮市も、市長が署名し、職員に署名の協力を呼び掛けています。6月議会で日本共産党西宮市会議員団が、ヒバクシャ国際署名について質問し、その答弁で明らかにされました。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名

被爆者は核兵器廃絶を心から求めます

署名の訴えを転載します

人類は今、破滅への道を進むのか、命輝く青い地球を目指すのか岐路に立たされています。

1945年8月6日と9日、米軍が投下した2発の原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人びとを無差別に殺傷しました。真っ黒に焦げ炭になった屍、ずるむけのからだ、無言で歩きつづける人びとの列。生き地獄そのものでした。生きのびた人も、次から次と倒れていきました。70年が過ぎた今も後障害にさいなまれ、子や孫への不安のなか、私たちは生きぬいてきました。もうこんなことは、たくさんです。沈黙を強いられていた被爆者が、被爆から11年後の1956年8月に長崎に集まり、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。そこで「自らを救い、私たちの体験を通して人類の危機を救おう」と誓い、世界に向けて「ふたたび被爆者をつくるな」と訴えつづけてきました。被爆者の心からの叫びです。しかし、地球上では今なお戦乱や紛争が絶えず、罪のない人びとが命を奪われています。核兵器を脅迫に使ったり、新たな核兵器を開発する動きもあります。現存する1万数千発の核兵器の破壊力は、広島・長崎の2発の原爆の数万倍にもおよびます。核兵器は、人類はもとより地球上に存在するすべての生命を断ち切り、環境を破壊し、地球を死の星にする悪魔の兵器です。人類は、生物兵器、化学兵器について、使用、開発、生産、保有を条約、議定書などで禁じて来ましたが、それらをはるかに上回る破壊力をもつ核兵器を禁じることに何のためらいが必要でしょうか。被爆者は、核兵器を禁止し廃絶する条約を結ぶことを、すべての国に求めます。平均年齢80歳を超えた被爆者は、後世の人びとが生き地獄を体験しないように、生きている間に何としても核兵器のない世界を実現したいと切望しています。あなたとあなたの家族、すべての人びとを絶対に被爆者にしてはなりません。あなたの署名が、核兵器廃絶を求める何億という世界の世論となって、国際政治を動かし、命輝く青い地球を未来に残すと確信します。あなたの署名を心から訴えます。

2016年4月よびかけ被爆者代表：坪井直、谷口稜暉、岩佐幹三（以上、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）・代表委員）、田中熙巳（日本被団協・事務局長）、郭貴勲（韓国原爆被害者協会・名誉会長）、向井司（北米原爆被害者の会・会長）、森田隆（ブラジル被爆者平和協会・会長）、サーロー・セツコ（カナダ在住）、山下泰昭（メキシコ在住）

<この署名は、国連に提出します>

